

市区町村名	愛媛県松山市	担当部署	選挙管理委員会事務局
		電話番号	089-948-6620
		所属メール	senkan@city.matsuyama.ehime.jp

1 取組事例名
選挙コンシェルジュ等との協働による主権者教育の推進

2 取組期間
平成25年度～（継続中）

3 取組概要
<p>選挙啓発活動に関心を持つ地元の学生を選挙啓発の学生支援スタッフ「選挙コンシェルジュ」に任命し、さらに賛同するサークルや若者が所属する NPO 法人などで主権者教育や映像制作等の専門分野を持つ団体を「選挙クルー」に認定し、得意分野を活かして、市選管と連携して選挙の普及啓発活動を実施。</p> <p>市内の小・中・高校等での「出前授業・模擬選挙」や「生徒会選挙プロデュース」、児童館での「おもちゃ総選挙」のほか「SNS等での周知啓発」等の取組を積極的に展開している。</p>

4 背景・目的
<p>平成25年7月に全国で初めて大学内に期日前投票所を設置。それをきっかけに大学生からの「大学生も行政に参画したい」等の意見もあり、平成26年2月に地元大学の先生から選挙啓発活動に関心を持つ学生を紹介していただき、選挙コンシェルジュ1期4名を任命。その後、18歳選挙権の導入もあり、若年層への選挙啓発が必要との認識のもと、積極的に活動している。</p>

5 取組の具体的内容

○出前授業、模擬選挙

主に中学生・高校生を対象に、選挙コンシェルジュと選挙クルーが市選管と協力して以下の取組を実施。

模擬投票

選挙コンシェルジュが候補者役となるか、総務省の動画教材を活用して模擬選挙を実施。

選挙クイズ・豆知識

不在者投票や期日前投票等、当日投票が難しい場合に投票できる制度を周知するなど、将来の投票活動に繋げる。

メディア等への発信

学校側が希望した場合、模擬選挙の様子をマスコミに公開。実施後は市選管の SNS に概要を掲載。



○生徒会選挙プロデュース事業（対象者：中学生・高校生）

生徒会選挙の実施にあたり、実際の選挙で使用する投票箱や記載台を貸出し、また希望によって選挙ポスターや選挙公報、選挙入場券等を市選管が作成し学校に提供する。必要に応じて選管職員が訪問し、生徒会選挙の実施を支援。立候補者演説の合間に時間をいただければ選挙啓発も行う。学校が希望した場合、投票用紙計数機を持ち込んで開票作業の支援を行う。以上の体験により、投票をすることが難しいものではなく、身近なものだと感じてもらう。

○おもちゃ総選挙

小学校就学前の幼児と小学生に対し、発達段階に応じた出前講座を行うほか、購入するおもちゃを子どもの投票で決めるなど、選挙を体験してもらう。こどもたちに楽しみながら参加してもらい、「選ぶこと」「周りと相談すること」等の大切さを理解してもらうことを目指す。また、保護者と共に体験してもらうことにより親子投票を啓発することに繋げる。



○SNS等で周知啓発

映像制作サークルの選挙クルーと協働で選挙CMを作成。

令和5年3月に開設した松山市選挙管理委員会のインスタグラムについては、若者がアカウントに興味を持ってもらえるよう、選挙コンシェルジュに投稿内容の提言をしてもらい、リール動画にも出演して、選挙の普及啓発活動を行っている。



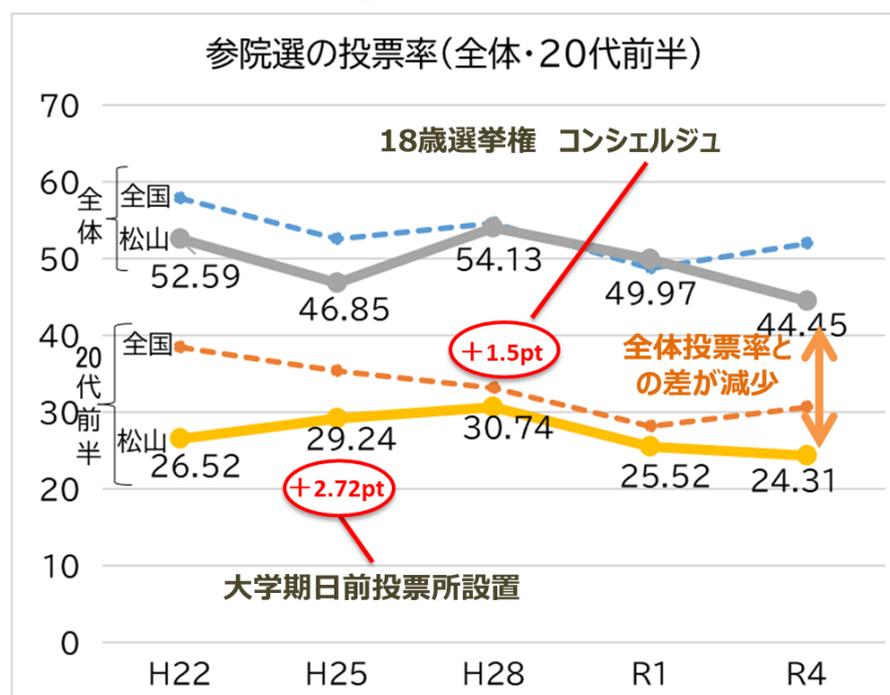
6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

- ・学生であるコンシェルジュからの提案を様々な取組に反映させたほか、コンシェルジュが出前講座（主権者教育）の講師を務める等、10年間にわたり選管職員と協働で実施している。
- ・学校からの依頼がスタートとなるため、学校の事業計画に入れてもらえるように、前年度の内から定期的に学校へ周知を行っている。
- ・学校の状況に合わせて選べるよう、10分、20分、1時間と時間ごとの主権者教育のメニューを提示する。
- ・選挙ポスターの作成について、事前にパワーポイントでポスターのレイアウト・様式を作成しておき、写真を貼り替え、名前等テキストを置き換えるだけで、簡単にポスターができるようにしておく。

7 取組の効果・費用

- ・学生が講演することで、聞く側も同世代として響く部分が多く、市選管と選挙コンシェルジュやクルーとの連携によってそれぞれの強みを生かした取組により、選挙の必要性や投票をすることが難しいものではなく、身近なものだと感じてもらうことができている。

- ・選挙コンシェルジュの取組みで若年層の投票率の向上にもつながっている。（下記グラフ参照）



H22→H25
H25→H28

**20代前半
投票率
向上**

※松山市の20代前半の投票率について、H22とH25の投票率は1つの投票区を抽出し、集計したもの。
H28以降の投票率は全有権者（国内）の投票率を集計したもの。
（全国の20代前半の投票率は全て抽出集計）

3

- ・事業予算：約209万円（令和6年度予算）
選挙コンシェルジュ、クルーへの謝礼金や消耗品費、印刷製本費等

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

- ・教員には外部講師が授業することへの不安や抵抗感があることが多いため、可能な限り選管職員が事前に訪問し、授業内容を伝える。
- ・学生である選挙コンシェルジュは、卒業までの間しか在籍できない。そのため、継続的な活動を行うために SNS で公募したり、現役コンシェルジュの友人や後輩等に声掛けをしてもらったりすることで組織の維持を図っている。

9 今後の予定・構想

- ・おもちゃ総選挙等の実施場所を従来の児童館以外にも拡充するなど、各種取組の更なる充実を図る。
- ・コンシェルジュの SNS チームを中心に若者ならではの発想を活かし、選挙啓発をするためにインスタグラムなどの SNS 投稿を行い、活発なアカウント運営を目指す。

10 他団体へのアドバイス

- ・学生のコンシェルジュや選挙クルーの若者が語りかけることで、やわらかい雰囲気になり、同世代の大学生・高校生に響きやすくなる。大人はそれに乗っかって行くくらいの気持ちで。学生や NPO とつながるポイントは、彼らの話をよく聞いて一緒に取り組むことが重要。

11 取組について記載したホームページ

- ・ [選挙コンシェルジュ（選挙啓発の学生支援スタッフ） 松山市公式ホームページ PC サイト \(city.matsuyama.ehime.jp\)](http://city.matsuyama.ehime.jp)